

● 子どもの主張意見文コンクール優秀作品を紹介

第31回「子どもの主張コンクール」の作品には、毎年のことながら、大人の感覚を超える純粋で鋭い眼差しで社会を見ている子どもたちの姿に深く感動させられます。〈あきしま・街づくり市民会議・なががみ〉は設立10周年記念事業をきっかけとして、小学生児童の作品を改めて紹介し、この感動を地域の皆さんと共有したいと考えました。

毎月発行する「機関紙・まどあかり」で、15作品を順次紹介して参ります。(今回は12作目) 作品の著作者諸君は、4月からめでたく中学1年生に進学しています。

入選 もしも大地震が起きたら

成隣小学校 六年 山本 葉月

私たちの住んでいる日本は「地震列島」と呼ばれています。過去にもたくさんの大地震がありました。その中で私が体験した地震は「東日本大震災」です。この地震では東北地方に大きな津波が押し寄せ、多くの人の命を奪いました。ここ昭島市も大きく揺れました。その時私は、学校で帰りの会をしていました。すると足元が小さく揺れ始めました。私は、「地震?」と小さな声で言いました。そしてだんだんと揺れが強くなり、みんなも「地震だ!」と言って、机の下にもぐりました。その後校庭に避難し、下校しました。家に帰るとテレビがついていました。私はそれを見て目を疑いました。そこには、たくさんの車が流されたり、次々に家が流されていくところが映っていました。私はとても悲しくなりました。私はこのような経験をするまでは地震の恐ろしさをよく知らなかったのです。

最近「南海トラフ地震」の被害想定が発表されました。死者、行方不明者は三十万人以上とされ大きな被害が出ると予想されました。この地震では東日本大震災の時と同じように津波が来る可能性が高いです。また東京都も「首都直下型地震」に襲われる可能性があります。立川市には立川断層があり、近くの昭島市も大きな地震が起こる可能性があるのです。

さて、あの東日本大震災から二年三か月以上たった今、みなさんの家ではどのような対策をしていますか。私の家では対策を四つしています。

一つ目は、地震が起きて避難するぞという時に持っていく物を用意しておくことです。七日分の食料や水、着替え、ライト、救急箱などたくさんの物を用意しました。すると、大きいバッグに三つになり、一つ一つがとても重くなってしまいました。これでは避難するぞという時に、荷物が邪魔ですぐ避難できません。なので、用意する物は水、食料などの必要な物だけに絞ることにしました。

二つ目は、家族と地震が起きた時に避難する「避難先」を話し合うことです。私の家では成隣小学校と決めました。なぜなら、平日は私も弟も学校にいるし、家も学校に近いからです。

三つ目は、地震が起きた時に「災害時伝言ダイヤル」などを利用することです。これは安否確認などに使えます。

四つ目は、棚などに転倒防止ストッパーを付けることです。このような物を付けると身の安全に繋がります。このように身を守る対策はたくさんあります。「市民防災マニュアル」に地震対策を載せたり、ハザードマップに避難先などを載せていますから利用するとよいと思います。

しかし、大きな地震が起きた時、慌てて冷静な判断ができなかったら、これらの対策は台無しになるかもしれません。一番大切なことは、焦らず避難できるように日ごろから心構えをしておくことだと思います。

9・10月の活動予定

催事案内		日程		開始時間	場所	
防犯防災部会	防災訓練	9月	20日(土)	午前10時～	玉川小学校 校庭・体育館	
国際交流部会	国際交流の集い	9月	27日(土)	午後2時～	市民交流センター講習室	
部会名		日程		開始時間	場所	部員数
運営委員会		10月	9日(木)	午後7時～	朝日会館第2集会室	
地域活動部会	定例会	10月	21日(火)	午後7時～	市民交流センター活動室	51
防犯防災部会	定例会	9月	23日(火)	午後7時～	市民交流センター活動室	21
街並み部会	定例会	10月	15日(水)	午後7時～	市民交流センター活動室	10
国際交流部会	定例会	10月	10日(金)	午後3時～	市民交流センター講習室	24
芸能部会	定例会	10月	19日(日)	午後1時30分～	朝日会館第1集会室	16
自然健康部会	定例会	10月	16日(木)	午前10時～	市民交流センター松の間	24
広報部会	定例会	9月	28日(日)	午後7時30分～	市民交流センター活動室	12
自然と親しむ部会	定例会	9月	24日(水)	午後7時～	市民交流センター活動室	22

※発行月第3週～翌月の活動予定です。記載のない部会は、事務局にお問合せください。